

建設新聞

K

発行所
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5

市外局番(022)221-下記番号
総務部 4601 FAX221-4633
編集部 4602 FAX217-4170
編集事業部 4603 FAX221-4637
営業部 4604 FAX268-6416
編集事業部情報室 4606 FAX221-4637

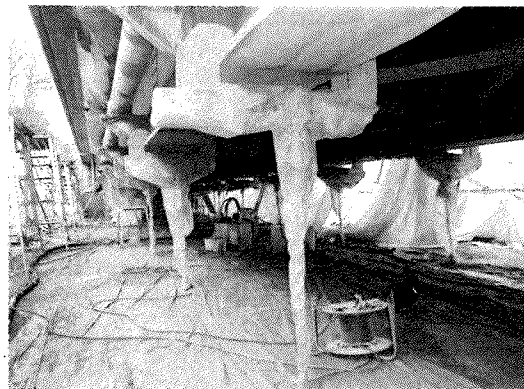
◎建設新聞 2016

2016年(平成28年)1月8日(金曜日) 日刊(土曜、日曜、祝日休刊)

日線産業

作業性、コスト面で優位

雫石町道の橋梁に「クイックデッキ」採用



クイックデッキが採用された桑原橋

NETISに登録されたクイックデッキの存在を知り、開発した日線産業に相談。簡易で使いやすい吊り足場であったことから、同工事に採用することを決定した。簡易な組立、高いシステム強度、

雫石町発注の「町道桑原線桑原橋橋梁補修工事」において、日線産業(東京都中央区 小野大社長の吊り足場「クイックデッキ」が採用されている。同社によると、岩手県内でのクイックデッキの橋梁での採用は、大槌町発注の橋梁工事に続き2例目。施工を担当する雫石砂利工業(村上史佳社長)の福田明朗現場所長は、「クイックデッキの採用で日線産業の指導のもと、1床ユニットを組み立てる地上での作業が半日で済んだほか、全体の吊り足場設置も現場作業員5人で3日間完了することができた。張り出しも2.5mあり、吊りチェーン間隔も広いため、効率的に作業を進めることができる」と太鼓判を押す。

同工事は、雫石町南畑地内の町道桑原線桑原橋の補修を行うもので、支承防錆工4基、橋梁付属物工1式、断面補修工1式、現場塗装工287平方m、舗装工119平方mを実施。工期は2015年9月17日から16年1月24日までとなっている。施工に当たって従来型の足場工法による見積もりを取ったところ、橋上で工事用車両による作業が4日間必要なことや、幅員が4mと狭く、作業を進める上で交通規制が必要となり、繁忙期のため全体の設置に4週間かかることが判明。同橋を生活道路として利用する7世帯に大きな支障となることから、最適な吊り足場の施工方法を検討した。

先行床施工による安全性、広い吊りチェーン間隔と、たわみが少なく段差や開口のない作業空間などクイックデッキの優位性を実感。吊り足場のため、心配された揺れに対しては「意外と揺れが少ない。専門のとび職人でない作業員が設置できるのも大きなメリット」と福田所長は話す。日線産業によると、クイックデッキは国内では橋梁での採用のほか、駅舎改築の大庇建築、東海道新幹線高架改修、大型ショッピングモール、工場の耐震改修、アリーナ天井仕上げなどで実績がある。人手不足を解消し、高い安全性と工事品質の向上を提供する吊り足場のため、採用も増えているという。

その結果、昨年5月に

クイックデッキを採用

日綜産業(本社・東京都中央区八丁堀、小野大社長)は、昨年5月にNETIS登録した先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ(登録番号・TH-150007-A)」を全国展開している。雪石町

「町道桑原線桑原橋が施工する町道桑原線桑原橋補修工事」で同社が3620万円を落札した。同現場の現場代理人の福田明朗所長は、施工の準備に入った。

当初は、通常の吊足場を計画していたが、幅員が狭いため4日はど交通規制が必要となり、さらに繁忙期と重なり、橋長は約28メートル、幅員約4メートル、1971年に架設され、40年以上が経過。町では、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、その中で同橋は早期補修が必要な橋梁に位置付けられている。

町では、昨年9月に「町道桑原線桑原橋が施工する町道桑原線桑原橋補修工事」を発注し、同社が3620万円を落札した。同現場の現場代理人の福田明朗所長は、施工の準備に入った。

当初は、通常の吊足場を計画していたが、幅員が狭いため4日はど交通規制が必要となり、さらに繁忙期と重なり、

日綜産業

なり足場設置が約1カ月先との見通しとなった。福田所長は、住民の生活道路であり迂回路がないことから、交通規制は避けたいと思っ

た。その中で、クイックデッキの存在を知り、従来より簡易で使いやすいことが分かり、採用を決めた。通常は、専門の熟練者が組み立てるが、組み立て未経験の現場社員が日綜産業の指導で設置。5人の社員が3日ほどで設置した。

福田所長は「最初の



快適な作業空間を確保

デッキを地上で作り、橋梁下部に設置。そのデッキから張り出すことができるので、効率が良い足場だと思っ」と話す。

また「設置後でも高さの調節が可能。専用吊りチェーンを(最大5メートルまで)取り外すことができるので、塗装の際に効率的に作業できた。吊り足場なので、もっと揺れるかと思ったが、あまり揺れなかった」との印象も話す。

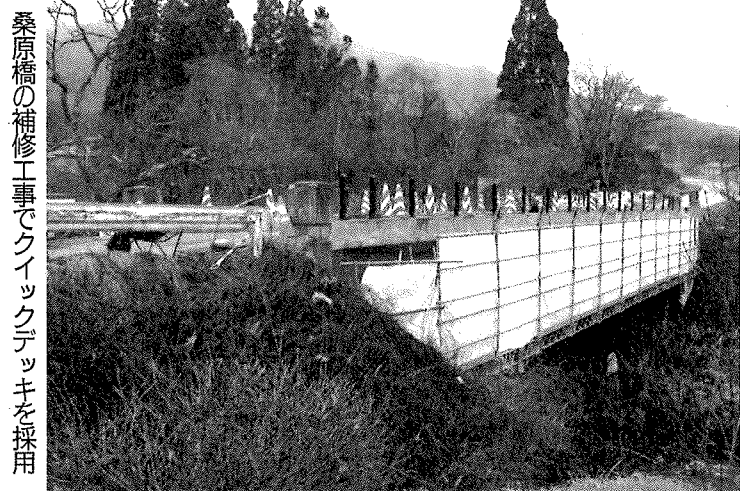
クイックデッキは、昨年5月にNETIS登録し、実績は全国で80現場ほど。橋梁と建築工事での採用が多い。本県では、大槌町

内の橋梁工事に続き、2現場目の採用となる。

基本構造はピンを差し込むだけで組み立て可能となっている。短期間のトレーニングにより熟練工でなくても吊り足場が安全に施工できる。

フレームを水平旋回させて、作業床を先行させる施工方法により、組み立て・解体時の身を乗り出していない安全作業をなくしている。10メートル×10メートル(100平方メートル程度)のユニットなら特別な補強をせずに4点ユニット吊り込みが可能などの特徴がある。

日刊岩手建設工業新聞



桑原橋の補修工事でクイックデッキを採用

日刊 岩手建設工業新聞

発行所

日刊岩手建設工業新聞社

本社 盛岡市本町通3丁目9番33号

電話 019(623)8201

ファクス 019(622)5119

019(623)8204

振替口座 02320-3-3405

購読料 (1カ月) 7,508円

http://www.

nikkaniwate.co.jp